

デジタル活用共生社会実現会議
ICT地域コミュニティ創造部会 第3回資料

加賀市における「地域ICTクラブ」の取り組みについて



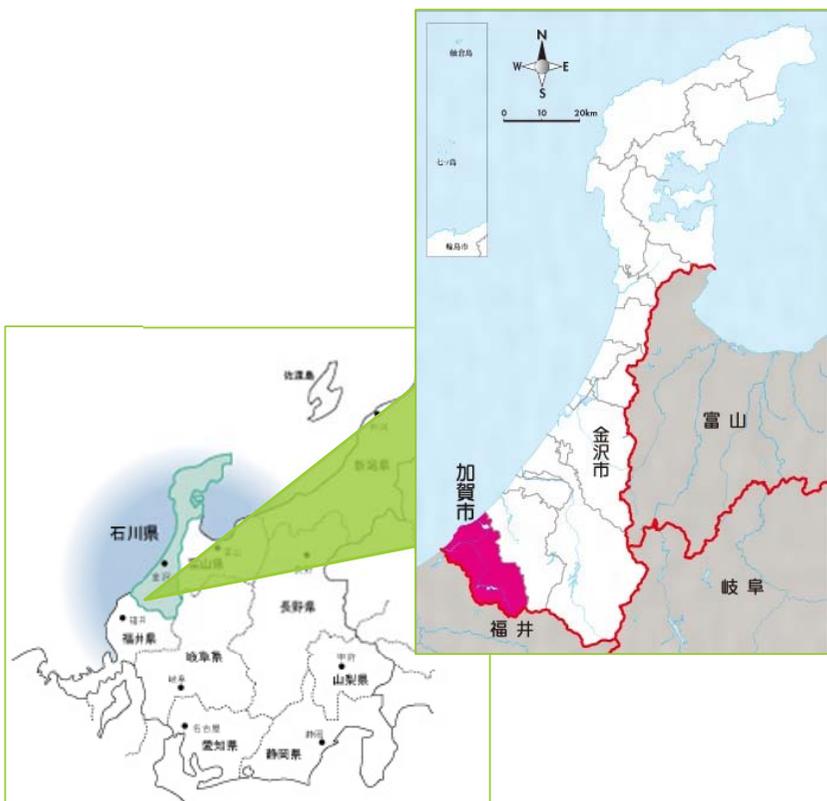
2019年1月22日（火）

加賀市地域 I C Tクラブ推進協議会

代表団体 加賀市



石川県加賀市



○石川県内海岸沿いで最南端の市で、山代温泉・山中温泉・片山津温泉を有する「加賀温泉郷」として知られる全国屈指の温泉地

○人口67,571人（平成30年4月1日現在）
（5年で約4,000人減少）



ICT/IoTを活用できる人材育成

平成29年度から市内全小中学校でプログラミング教育を実施

地域 I C Tクラブの目的・役割

- ・本格的な I o T、A I時代の到来に備え、テクノロジーの進化にも対応できる、未来を担う人材の育成のため



加賀市地域ICTクラブ推進協議会

発達障害者支援
センターパース

スマート加賀
IoT推進協議会

加賀市

インテトラス

タビト學舎

スマートインクルー
ジョン推進機構

みんなの
コード

テクノアルタ
エンジン

EdelWorks

実施会場	OJT講師	児童生徒	サポーター	メンター	合計
イノベーションセンター	EdelWorks	13名	11名	7名	31名
片山津地区会館	テクノアルタエンジン	11名	7名	2名	20名
山中児童センター	インテトラス	10名	2名	0名	12名
合計		34名	20名	9名	63名

地域ICTクラブの立上げ

ヒト



- ・人材不足問題（運営者・メンター）

モノ



- ・セキュリティ問題

場所



- ・通信環境問題

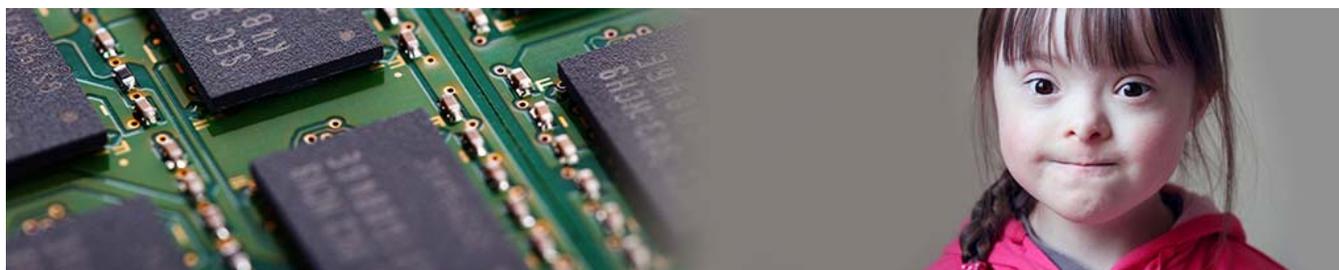
メンターの確保・育成

- ・メンターに求められる素質・経験等
 - 子どもたちと一緒にプログラミングが動いた時の笑顔・感動体験を共有できるヒト **難しい知識は必要なし**
- ・メンターの確保、育成のポイント
 - 子どもたちと一緒に学んでいく姿勢 **教えるのではなく子どもたちの発想を肯定し、一緒に考える**

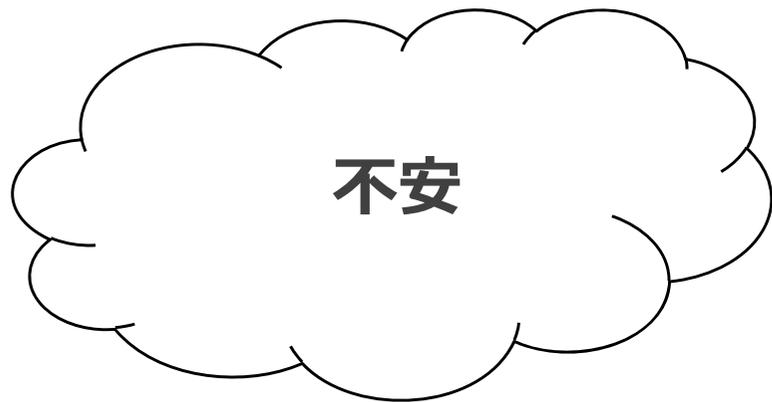


障害児者参加推奨クラブ イノベーションセンター

- 発達障害児対象にプログラミング教室を開催していた実績のある講師（協議会メンバーEdelWorks）の配置
- 障害児者サポーターとして発達障害者支援センターパースの職員を配置



相互理解の促進



理由

受け入れ側

**障害や障害児者への知識
や経験が少ないため**

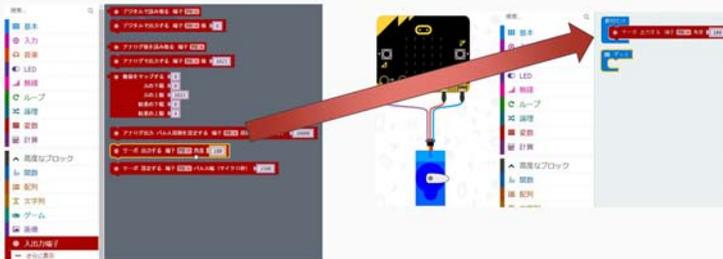
参加者（保護者含め）

**プログラミング教育への
知識や経験が少ないため**

講座運営のポイント

早速サーボモーターを動かそう！

- 1.「入出力端子」の「サーボ 出力する」をクリック。
- 2.今回は「最初だけ」の中に入れよう！



20

ボタンをタッチした時に何かさせよう！

- 1.「入力」の中にある「ボタンAが押されたとき」を引っ張ろう。
- 2.その中に何か動作を入れて、左側のシュミレーターのボタンを押して、動きを見てみよう。

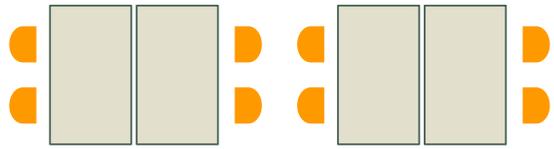
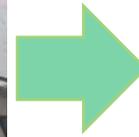
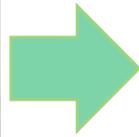


自由時間まで:あと2枚

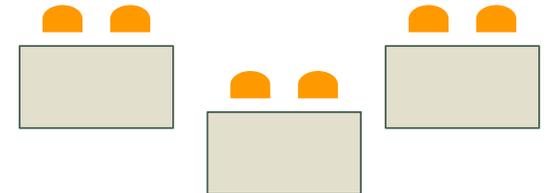
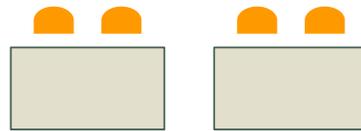
28

1 ページの情報量をできる限り少なく

レイアウト



最初



最後

プロジェクター・スクリーンを使用

手元にスクリーンに映し出される資料を配布

休憩について

休憩は授業中いつでも自由にとって良いです。

飲み物や食べ物も授業中自由に摂って大丈夫です。

リラックスしながら楽しみましょう。



9

授業中について

先生の説明に質問があれば手を挙げてください。説明の途中でも大丈夫です。

もしくは、近くの大人か、先生が近くに来た時に聞いて下さい。



10

ページ番号で現在の進行状況を伝える！

一人ひとりに合わせた柔軟な対応

- ・ 集中しすぎてしまう子
→ **こまめに休憩を促す**
- ・ 自己主張が苦手な子
→ **くだらない質問等で質問しやすい雰囲気づくり**
- ・ 文字に起こすのが苦手な子
→ **苦手なら無理に文字に起こさせない**



本人のやり方を尊重

地域 ICT クラブの継続可能な運営のあり方

- 自立的な継続活動を実現する運営体制等
 - ヒトの確保
 - 資金の確保
 - 参加者の理解（保護者含め）



ご清聴ありがとうございました。

加賀市地域ICTクラブ推進協議会



加賀市のキャラクター
『かも丸くん』